

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

今日までの永きにわたる貴実行委員会の核兵器廃絶平和運動への取組に対しまして、心より敬意を表します。

益田市におきましても、広島・長崎の惨劇を世界中のどの地においても、二度と繰り返してはならないという強い思いから、1988年に「非核・平和都市宣言」を行い、毎年多くの市民の皆様により、平和への取組がなされております。

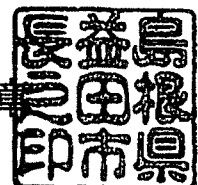
本年は、被爆から75年の節目の年を迎え、改めて核兵器廃絶に向けた活動を発展させることが必要であると考えます。

しかし、米国は核なき世界の実現に反し、ミサイル防衛能力を高め、中国やロシアに対する核の均衡を維持することを目的に、潜水艦発射型の小型核弾頭を使える核兵器として実戦配備し、世界中がその動向を注視しているところでもあります。

核兵器のない世界が一日も早く実現することを願いますとともに、原水爆禁止2020年世界大会が成功をおさめ、世界平和への大きな一歩となりますことを御祈念申し上げます。

令和2年7月1日

島根県益田市市長 山本 浩章



メッセージ

核兵器の廃絶と

世界の恒久平和の実現を

祈念するとともに

原水爆禁止二〇二〇年世界大会を

つうじて多くの人々が

核兵器廃絶の思いを更に深めて

行動してくださることを

期待いたします

令和二年八月

浜田市長 久保田 章市

メッセージ

本年 8 月、唯一の被爆国である我が国は被爆 75 年の節目を迎えます。

我が国はもとより「核兵器のない平和で公正な世界の実現」は世界中の人々の願いであることは言うまでもありません。

原水爆禁止 2020 年世界大会を契機に、よりたくさんの人々が核兵器の廃絶と世界の恒久平和実現のために行動して下さいることを期待いたします。

令和 2 年 6 月 30 日

島根県大田市長 楯野弘和

「原水爆禁止 2020 年世界大会」へのメッセージ

「原水爆禁止 2020 年世界大会」の開催を心よりお祝い申し上げます。

我が国は、世界唯一の被爆国として、広島、長崎の惨禍を繰り返すことのないよう、核兵器の廃絶と恒久平和を全世界に訴えていかなければなりません。

雲南市は、長崎で被爆されながらも「平和を」と「如己愛人」の精神により世界に平和を訴え続けられた永井隆博士の有縁の地であります。

雲南市では、この「平和を」の精神に基づき、心をひとつにして、世界平和実現のために努力することを誓い、平成 17 年に「平和を」の都市宣言を行いました。

世界平和の実現と核兵器の廃絶に向け、本大会が実り多きものとなることを祈念いたします。

令和 2 年 8 月

島根県雲南市長 速水 雄一